

## 児童・保護者・教職員の肯定的評価

児童358名、保護者237名

項目	番号	内 容	児 童	保 護 者
学 校 経 営 全 般	1	学校は、教育方針や教育活動について各種たより(学校だより・学年だより・図書館・保健・給食だより)、ホームページ、授業参観等で分かりやすく伝えている。	/	92.8
	2	学校は、家庭、地域と連携・協力しながら教育活動に取り組んでいる。	/	90.6
	3	学校は、施設・設備・教具などの学習環境面を整えている。	/	84.1
	4	学校は、事故防止に配慮し、子どもの安全確保に対応している。(交通指導、学校安全ボランティア、緊急メールなど)	/	89.0
教 育 活 動 お よ び 子 ど も の 姿	5	学校は、基礎学力(音読・漢字・計算など)の定着に努めている。	85.8	87.7
	6	子どもは、授業がわかりやすいと言っている。	87.7	79.2
	7	子どもは、家庭学習(宿題・自主学習)によく取り組んでいる。	86.0	71.3
	8	学校は、道徳教育を大切にし、道徳の授業等を通して、思いやりや自分のよさを伸ばしていこうとする態度を身につかせようとしている。	86.3	87.5
	9	学校は、子どもの悩みや健康などについて生活ふりかえりアンケートの実施や教育相談等により、相談に応じてくれている。	92.2	85.4
	10	学校は、面談等で話をしたり、連絡帳や電話等で連絡を取り合ったりする機会をもっている。	/	92.4
	11	学校は、休み時間の外遊びや体育の授業における運動量の確保等で体力の増強に努めている。	87.7	85.4
	12	学校は、運動会や校外学習、宿泊学習・修学旅行、持久走大会などの行事を、子どもたちが目標をもって取り組んでいるように工夫している。	93.0	94.0
	13	学校は、一人一人の子どもを大切に学級経営をしている。	88.6	81.4
	14	子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。	82.1	83.5
	15	子どもは、学校に友達がいる。	94.7	92.8
	16	子どもは、あいさつや返事ができる子に育っている。	86.9	84.7
	17	子どもは、自分にはよいところや得意なことがあると感じている。	88.5	86.0
	18	子どもは、学校での学習の様子や出来事について家の人に話をしている。	84.3	86.4
	19	読書、読み聞かせは楽しい。(児童)／子どもは、家で読書をしている。(保護者)／子どもは、進んで読書をしている。(教職員)	90.5	45.3
	20	(5・6年)学校のために進んで働いている。	94.1	/

## 全体集計とその考察

### 学校経営全般について 項目 1～4

- ◎保護者評価の肯定的評価ですが、昨年度とほぼ同様でした。学校の教育方針や教育活動を「伝える」、また、家庭や地域の皆様と連携・協力しながら教育活動に取り組む努力をして参りました。今年度も、学校ホームページの更なる充実を図り、学校の教育方針や学校生活等をタイムリーにお伝えしてきました。保護者の皆様のご回答では、昨年度に引き続き、学校経営に関して、90%に近い評価をしていただけたことに感謝申し上げます、今後も、本校の教育方針や教育活動を「伝え」、家庭や地域の皆様とともにある学校づくりを推進していきたいと考えています。
- 「学校の施設・設備・教具」については、校舎等に老朽化が始め、教職員による安全点検等で確認修繕し、安全に授業が受けられるように配慮していきます。なお、教具については、数が限られているもの等があることから、ICTを活用して工夫して授業に取り組んで参ります。
- 「学校の安全対策」については、今年度も夏の暑さは昨年度以上の猛暑でしたが、熱中症対策として、熱中症計測器による測定、教室や体育館のエアコン使用など、児童の安全を第一に進めて参りました。今後も急な気象の変化や不審者情報における対応等について、通知やメール配信、立哨指導等に緊張感をもって取り組んで参ります。また、来年度に向けて「小山城北小安全ボランティア」「小山城北小ウォーキング・お散歩ボランティア」「小山城北小安全ボランティア犬」を募集いたします。現在も児童の登下校の安全を守るためにご協力をいただいております。おかげをもちまして、交通事故ゼロが続いております。ありがとうございます。また、今年度はPTAの協力により、「子どもひなんの家」のマップを保護者の方に配信するとともに、校内にも掲示することで、児童への注意喚起もできました。児童は、地域の方のお陰で安全に登下校できていることが改めて認識できたようです。

### 教育活動および子どもの姿について 項目 5～19

- ◎「基礎学力の定着に努めている」の項目では、児童において、肯定的意見が上がりました。学校では、朝の時間を活用して「100マス作文」による書く指導や音読、漢字や計算にめあてをもって学習する取組をしています。繰り返し学習することで、基礎学力が定着し、学習指導要領で求められている思考力・表現力・判断力、学びに向かう力等が高まっていくと考えられますので、引き続き取り組んで参りたいと思います。
- 学習面「授業がわかりやすい」の項目では、児童、保護者ともに肯定的意見が若干下がりました。授業に関して、興味関心を高め主体的に取り組むための指導を工夫したり、子どもたち同士の考えを伝え合って課題を解決していく集団解決の充実を図ったりしています。また、電子黒板やタブレット(学習端末)を活用し、児童にとって分かりやすい授業展開を心がけています。今後もこのような取組を継続していきたいと考えます。
- ◎「家庭学習」については、児童の肯定的意見が上がりました。学校では、家庭学習強化週間を毎学期位置付け、家庭学習カード(ぐんぐん)の使用、頑張りや工夫が見られる児童のノート掲示、ノートが1冊終了する毎に学校長からの励ましのコメント等、取組への意欲の向上を図っております。ご家庭におかれましても、家庭学習の習慣化が図れるよう、引き続きご協力をお願いします。
- ◎「子どもの悩みや健康等について相談に応じている」では、児童の肯定的意見が上がりました。学期に1回の「教育相談」と毎月の「生活ふり返りアンケート」の実施により、定期的に子どもたちの実態を把握し、対応することができたと考えます。今後も、学校の組織を挙げて、職員のみならずSC(スクールカウンセラー)やSSW(スクールソーシャルワーカー)、関係機関と連携し、子どもたちの声に誠実に耳を傾け適切に対応できる体制づくりを進めてまいります。
- ◎「学校の各種行事に目標をもって取り組んでいる」は、児童、保護者ともに肯定的意見が非常に高い結果になりました。運動会や持久走大会など体育的行事については、練習時から児童一人一人にめあてをもたせ、意識させながら本番を迎えました。めあてに対する到達度は一人一人違うものの、振り返りをする中で、当日を迎えるまでの過程を大切に、頑張りや認めながら取り組んだことで、子どもたちは達成感が得られ、高評価につながったのだと思います。校外学習、宿泊学習・修学旅行など、学校を離れての学習では、学校での学習を生かして友達と協力する姿や頑張る姿、礼儀正しい姿など成長を感じることができました。今後も児童の安全を一番に考えながら、児童のためにできることを考えて実施したいと思います。
- 「一人一人の子どもを大切にした学級経営」では、児童の肯定的意見が若干上がり、保護者の肯定的意見は下がっています。「面談等で話をしたり、連絡帳や電話等で連絡を取り合ったりする機会」の項目の保護者の肯定的意見が若干上がっているのを考慮すると、学校での様子が伝わりにくかったのかと考えます。今後も、児童の話をよく聞き一人一人を大切にした学級経営を心がけるよう身を引き締めて参ります。また、学年だより等で、学年の様子をお伝えできればと考えています。

- 「学校に友達がいる」については、保護者評価、児童評価ともに下がっています。ただ、児童の「学校に行くのが楽しみ」の肯定的意見が上がっているのを考慮すると、友だちとのコミュニケーションの力を向上させる必要があるのではないかと考えます。このことを受け、児童一人一人がクラスに「居がい」のある、好ましい集団づくりの実践をしていきたいと考えます。今後も児童一人一人のよさが発揮できるよう、教員と児童および児童相互の人間関係を深め、好ましい雰囲気の醸成を図ってまいります。
- 「あいさつや返事」に関しては、昨年度とほぼ同様です。毎朝の昇降口でのあいさつ運動の他に、今年度は、小中一貫で行っている「ハロープロジェクト」を本校独自の「きみスタハロープロジェクト」として活動を広げました。外国のあいさつの言葉であいさつし合ったり、学級のあいさつのめあてを作ったりして取り組んでいます。また、学校運営協議会での熟議の中で、あいさつについてご意見をいただきました。児童は、外でのあいさつやあいさつの仕方に個人差が見られるようですので、ご家庭でもあいさつの声かけを継続してお願いいたします。
- ◎「自分によいところや得意なことがある」については、児童においては、肯定的意見が上がりました。この評価項目は、本校の学校教育目標のスローガン『きみがスター～人を大切にする 自分を大切にする 一人一人が自分らしく、そして、互いに照らし合いながら輝く学校～』に基づくものです。学校では、行事等でめあてを立ててそれ向かって頑張るという形で進めています。めあては達成できなかったとしても、その過程を認めるように意識して声かけしています。今後は、大人が思っているその子のよさを積極的に伝えていく必要があると考えます。学校におきましては、様々な教育活動の中で、児童に自信がつくような言葉かけや取組がたくさんできるように、努めていきたいと思ひます。
- 「読書」については、児童、保護者ともに肯定的意見が昨年度よりもやや高くなりましたが、全体の割合からするとまだまだ低い結果となりました。「読書・お話しは楽しい」と答えている児童は非常に多く、また、学校での児童の様子から、図書室で毎週2冊の本を借りて読んだり、週1回の朝読書の時間やボランティアの方々のお話し会の時間を楽しみにしている様子が伺われます。今後は、学校だけでなくご家庭におかれましてもノーメディアデーの設定や親子読書など、本に親しむ機会を意図的に取り入れていただきますよう、ご協力をよろしくお願ひいたします。また、小山市立中央図書館の電子図書館も、今後活用を図っていききたいと思ひます。

### まとめ

- 保護者の方からの肯定的意見は全体的に昨年度とほぼ同様でした。下がった項目については、来年度に向けて取り組みを考えてまいります。児童の安全・安心を守ることが学校として一番大切であるということ踏まえ、児童一人一人のことを考えた教育活動を今後も進めていきます。引き続き、本校教育に対するご理解ご協力をよろしくお願ひいたします。
- 児童の肯定的意見につきましては、昨年度より全体的に上がっています。「基礎学力の定着」「家庭学習」「自分にはよい所や得意なことがあると感じている」の3項目で昨年度よりも高い評価になっており、学校で力を入れて指導していることが児童に反映されているものと捉えております。学習面で、特に「分かりやすい授業」の項目の評価が昨年度よりもやや低くなっています。分かりやすい授業を目指して、職員同士が研修等とおして情報交換しながら、授業を作っていきたいと思ひます。
- 教職員の評価は、全体的に昨年度とほぼ同様となっております。児童に高い目標をもたせることと同様、教職員も自ら目標を高く掲げ、自己研鑽に努めてまいります。

今後とも、学校教育に対して、保護者の皆様、地域の方々のご理解とご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。